

質問(小野寺尚武議員)
 持続的な財政運営を行うために、本市の現況から見て、どの程度の経常収支比率が理想なのか伺います。

答弁(市長)
 経常収支比率は、毎年度経常的に収入される市税等の一般財源のうち、人件費などの毎年度

小野寺 尚武 議員
財政運営及び国民健康保険制度について

経常的に支出される経費に、どの程度充てられたのかを示す指標で、この比率が高いほど財政構造が硬直化していることとなります。適正な範囲は80%程度とされ、本市の比率は平成18年度は90%、以後上昇傾向が続く平成24年度は94.8%と全国及び県平均

を上回り、財政の硬直化を懸念しています。上昇要因としては市税等の一般財源の伸び悩みや扶助費等の義務的経費の大幅な増によるものであります。現況から見た理想的な数値は、平成18年度の90%や全国平均の90.7%等を考慮すると、90%を下回る数値を理想として改善を図っていく考えです。



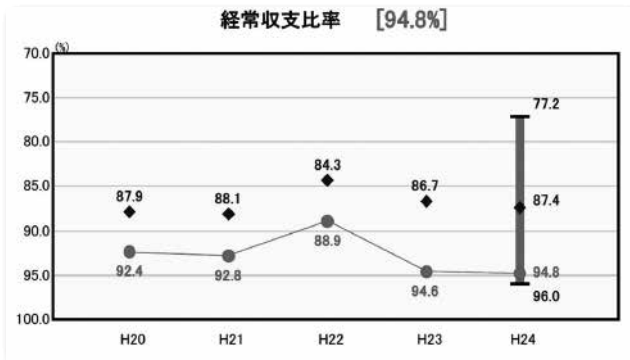
小中一貫校として統合を推進することを答申された野崎中学校

星雅人 議員
大田原市立小中学校再編整備について

質問(星雅人議員)
 薄葉小学校、石上小学校、野崎中学校については、答申書の中に「小中一貫校を前提として統合を推進する」とあるが、どのような形を想定しているのか考え方を伺います。

答弁(教育部長)
 一貫校の形としては、小中学校が離れている分離型、隣同士に小中学校が隣り合う隣接型、または小中学校が同一校舎である一体型、この3つが考えられますが、小学校から中学校までを9年間で捉えることで、一貫したカリキュラムが編成できるといった特徴があり、

一貫校を取り入れた自治体からは、小学校から中学校へのスムーズな移行や学力の向上などが報告されています。野崎中学校区に関しては、実現すると大田原市として初めてのことであり、規模的にも的確と考えられることから、事前に研究チームを立ち上げ、優良事例を参考に十分な検証を経ることになると考えております。



経常収支比率の推移を示すグラフ

- …大田原市の値
- ◆ …類似団体内の平均値
- …類似団体内の最大値及び最小値